

いぶりの水産業

胆振の概況2015

- 胆振管内は、噴火湾海域・太平洋海域と特性の異なる2海域に面し、噴火湾海域では、ほたてがい養殖業が、また、太平洋海域では、すけとうだら刺網、さけ定置、ほっき貝漁業が大宗漁業となっています。
- 平成25年の管内の漁業生産高は、数量で約7万4千トン、金額で約130億円であり、金額では全道の約4%を占めています。
- 魚種は、スケトウダラ、ホタテ貝、サケ、ホッキ貝の漁獲が中心であり、この5魚種が管内漁業生産に占める割合は、数量で86%、金額では70%となっています。
- 水産資源の増大に向けて、マツカワやウニの種苗放流が継続して行われており、室蘭市にある「栽培水産試験場」では栽培漁業の技術開発の研究が進められ、また、伊達市にある「えりも以西海域栽培漁業拠点センター」では、マツカワ種苗生産に取り組んでいます。



<ほたてがい養殖業>

●魚種別生産量（平成25年）

(単位:トン)

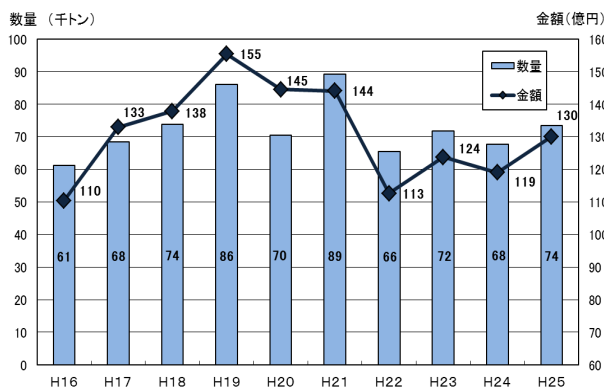
種別	胆振管内計		噴火湾海域		太平洋海域	
	生産量	構成比(%)	生産量	構成比(%)	生産量	構成比(%)
スケトウダラ	39,029	53.1	18,354	44.0	20,675	65.0
ホタテガイ	17,344	23.6	17,235	41.3	109	0.3
サケ	5,001	6.8	1,653	4.0	3,348	10.5
ホッキガイ	1,542	2.1	5	0.0	1,536	4.8
ケガニ	342	0.5	49	0.1	293	0.9
シシャモ	20	0.0	0	0.0	20	0.1
その他	10,234	13.9	4,389	10.5	5,846	18.4
計	73,512	100.0	41,685	100.0	31,827	100.0

●魚種別生産額（平成25年）

(単位:百万円)

種別	胆振管内計		噴火湾海域		太平洋海域	
	生産量	構成比(%)	生産量	構成比(%)	生産量	構成比(%)
スケトウダラ	2,986	23.0	1,375	20.4	1,612	25.7
ホタテガイ	3,219	24.8	3,193	47.4	26	0.4
サケ	2,143	16.5	651	9.7	1,492	23.8
ホッキガイ	704	5.4	3	0.0	701	11.2
ケガニ	802	6.2	122	1.8	679	10.8
シシャモ	51	0.4	0	0.0	51	0.8
その他	3,100	23.8	1,397	20.7	1,703	27.2
計	13,005	100.0	6,741	100.0	6,264	100.0

●生産量・生産額の推移



●胆振管内図（漁協・漁港位置図）

